

英語学演習ⅡA

授業内容

この授業では、生成文法での句構造(Phrase Structure)に関する研究について、重要な文献を通じて概観することを目的とします。

現在の生成文法では、ミニマリスト・プログラムを理論的指針として研究が進められています。しかし、ミニマリスト・プログラムのみを見ていても、その本質を理解することが出来ないために、オリジナルな研究へと結び付けるのが難しいというのが現状だと思われます。ミニマリスト・プログラムの本質を理解するには、どのような概念的・経験的要請に基づいて理論が進展してきたのかということを理解することが必要です。さらに、ミニマリスト・プログラムの指針に基づいて書かれている論文であっても、それ以前の研究成果が基盤となっている以上、以前仮定されていた理論的枠組みの理解が不可欠となります。

この授業で取り上げる句構造に関しても、ミニマリスト・プログラムでは併合(Merge)という操作のみによって構造が組み立てられると考えられています。しかし、そこに至る理論的背景や経験的証拠についての理解がなければ、真に理解したことにはなりません。そこで、以下の句構造に関する主要文献を読みながら、句構造に関する理解を深めたいと思います。授業の進捗については、受講者に応じて適時調整しながら進める予定です。

1. Overview
Read: Fukui (1993)
2. Unambiguous Path
Read: Kayne (1983) Chapter 7
3. Fine-grained Phrase Structure
Read: Larson (1988), Pollock (1989), Rizzi (1997)
4. Antisymmetry
Read: Kayne (1994)
5. Bare Phrase Structure
Read: Chomsky (1995)

履修上の注意

特になし

教科書

- Chomsky, N. (1995) "Bare phrase structure," in G. Webelhuth (ed.) *Government and Binding Theory and the Minimalist Program*, pp. 383-439, Blackwell.
- Fukui, N. (1993) "Phrase structure," in M. Baltin and C. Collins (eds.) *The Handbook of Contemporary Syntactic Theory* Chapter 12, pp. 374-406.
- Kayne, R. (1983) *Connectedness and Binary Branching*, Foris.
- Kayne, R. (1994) *Antisymmetry of Syntax*, MIT press.
- Larson, R. (1988) "On the double object construction," *Linguistic Inquiry* 19, 335-391.
- Pollock, J.-Y. (1989) "Verb-movement, UG, and the structure of IP," *Linguistic Inquiry* 20, 365-424.
- Rizzi, L. (1997) "The fine structure of left periphery," in Haegeman, L. (ed.) *Elements of Grammar*, pp. 281-337, Kluwer (Reprinted in Rizzi, L. (2000) *Comparative Syntax and Language Acquisition* Chapter 10).

参考書

クラスの中で適時指示します。

成績評価の方法

Presentations and Class Participation 30%, Homework 40%, Take-home Final 30%